

『生活応援運動2025』の概要

近畿ろうきんのパーパス（社会的な存在意義）
はたらく仲間を支える“助け合いの金融”を実践し、
誰もが安心して生活できる社会づくりに貢献する。

『生活応援運動2024』を踏まえた課題

これまでの『生活応援運動』から見てきた課題に対し、“金融教育”を中心に取組みを展開しました。引き続き、継続的な取組みが必要です。

【課題：資産形成の促進】

資産形成が計画どおりできている組合員は依然として約1割に留まる。

【課題：金融教育の拡大】

金融教育の取組み実施会員は約1割に留まり、取組みの展開に濃淡がある。

【課題：多重債務の防止】

相談フォームの運用状況からも、依然として多くの組合員が多重債務等に苦しむ現状にある。

組合員等への金融リテラシー（お金に対する知識・判断力）の向上を図る取組みが不十分

会員推進機構とともに

“金融教育”

の取組みを継続展開します。

役割①

「お金に関して考えるきっかけ、気づき」の場とすることで、今後のライフプランを考える機会を提供

役割②

金融リテラシーの向上により、
多重債務や金融トラブルを防止

「助け合いの金融」を実践する 福祉金融機関としての役割発揮

金融教育での「きっかけ・気づき」から「相談いただける」活動の展開へ

- アンケートや個別相談会等の取組み強化、相談フォーム等の活用により相談しやすい環境づくりに取り組みます。
- 個々のライフプランに応じた資産形成・資産運用のサポートを強化します。
- 低利で便利なローン商品の知らせる活動強化により高金利ローンの利用を防止します。
- 組合員一人ひとりの状況に応じた丁寧な借換え相談で生活改善を図り、多重債務から組合員を守ります。

【取組みのフィードバック】

金融教育説明会実施回数・相談人数、生活応援額、
アンケート集計結果、『生活応援運動』実施報告書

会員推進機構との結びつきの強化

会員推進機構とともに、組合員の「不安」・「課題」を相談・解決し、組合員の生涯にわたる生活を応援します。

＜ろうきん運動の活性化＞

推しのNPOプロジェクト「ツナガル行動宣言」

＜地域社会への寄与＞

金融教育を含む、会員推進機構が取り組むろうきん運動の行動量と行動結果が「地域の子
ども・子育て支援に取り組む非営利団体」への寄付を通じて、子ども支援に繋がります。